



# 美しい 県土づくりNEWS

2023年

10月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第230号  
令和5年10月31日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 県内各地で進めている県土整備部所管事業を紹介します！
- 6 令和5年度花巻空港消防救難訓練を実施しました
- 8 道路インフラメンテナンス勉強会を開催しました！！
- 10 【復興支援道路】宮古盛岡横断道路カードを集めよう！  
～インフラカードで沿線道の駅の利用を促進～
- 12 2023 火山砂防フォーラムが雫石町で開催されました！
- 14 人口減少対策につながる取組事例集～子育て編～について
- 15 岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の実施状況・事例等の公表について

# 三陸復興

## 県内各地で進めている 県土整備部所管事業を紹介します！



### 写真

- 上段：橋脚の巻立て（一関市）
- 中段：区画線の設置（遠野市）
- 下段：アスファルト舗装（岩泉町）

# 県内各地で進めている 県土整備部所管事業を紹介します！

## 県土整備部が所管する事業について

県では、「いわて県民計画（2019～2028）」に基づき、県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求することができる地域社会を実現するために10の政策分野を設定するとともに、各政策分野に幸福に関連する客観的指標を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開していくこととしています。

県土整備部では、各政策分野を下支えする土台である「社会基盤」に加え、「居住環境・コミュニティ」や「自然環境」などに関する分野の事業を推進しています。

## 令和5年度 県土整備部の予算について

令和5年度の県土整備部の一般会計予算（当初予算）は約681億円であり、県全体の一般会計予算のおよそ8.8%を占めます。

また、県土整備部の一般会計予算（当初予算）のうち、「道路や河川等の整備」や「県管理の公共土木施設の老朽化対策」など、主に社会基盤の整備等に要する経費である普通建設事業費は約378億円です。

県土整備部では、上記に加え、加速化対策等の補正予算である約201億円を活用し、安全・安心を支える社会基盤の整備等に取り組んでいます。

**【参考】 実行予算について**

実行予算とは、補正予算と翌年度の当初予算を一体で編成する予算のことです（いわゆる15か月予算など）。

県では、国の経済対策への対応分である令和4年度2月補正予算（第8号・第9号）と令和5年度当初予算を合わせて編成しています。

県土整備部においても「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の補正予算と当初予算を合わせて編成しています。

区分	普通建設事業費（百万円）			比率（％）
	補正	当初	合計（実行予算）	実行予算／震災前
H22当初（震災前）	—	54,812	54,812	—
R2.2月補正（加速化対策等）＋R3当初	29,599	35,152	64,751	118%
R3.2月補正（加速化対策等）＋R4当初	23,981	33,543	57,524	105%
R4.2月補正（加速化対策等）＋R5当初	20,134	37,763	57,897	106%

今月から12月までの県土づくりニュースでは、「道路や河川等の整備」や「県管理の公共土木施設の老朽化対策」など、各広域振興局土木部や土木センター等が進めている様々な「県土整備部所管事業の内容」を紹介します。

道路

いわいずみちょう おとも  
岩泉町 乙茂工区  
(国道455号)

沿岸広域振興局土木部  
岩泉土木センター



対策前の冠水状況  
(平成28年台風10号)



対策状況

小本川

(R5.8月撮影)



道路盛土の状況



○ 平成28年 台風第10号で被害を受けた道路を洪水で冠水しにくい道路にするため、道路の嵩上げなどの整備を進めています。

道路

にしわがまち おぐらやま  
西和賀町 小倉山の2工区  
(主)花巻大曲線

県南広域振興局土木部  
花巻土木センター



対策前



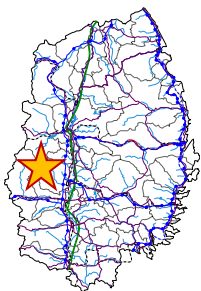
対策状況

川舟トンネル

(R5.7月撮影)



トンネル内のコンクリート舗装の状況



○ 狭い幅員、急こう配・急カーブを解消するため、トンネルなどの整備を進めています。

道路

かまいしし あおのき なかむら  
釜石市 青ノ木中村工区

((主)釜石遠野線)

沿岸広域振興局土木部

対策前



対策状況 (R5.10月撮影)

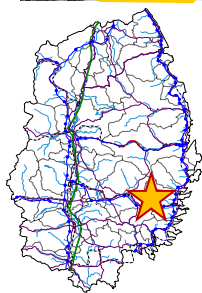


(R5.8月撮影)



道路拡幅 →

護岸設置による道路拡幅の状況



○ 幅員が狭く、大型車同士のすれ違いが困難な区間を解消するため、道路の拡幅などの整備を進めています。

道路

いちのせきし なかさとばし  
一関市 中里橋工区

((主)一関北上線)

県南広域振興局土木部  
一関土木センター

対策前



対策状況

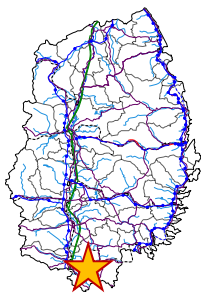


← 伸縮装置

(R5.7月撮影)



伸縮装置交換の状況



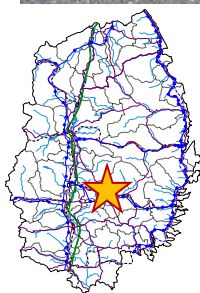
○ 老朽化した伸縮装置（橋梁の継ぎ目部分）を修繕し、橋梁の長寿命化を図ります。

とおのし 綾織工区  
遠野市  
（国道396号）

県南広域振興局土木部  
遠野土木センター



アスファルト敷き均しの状況



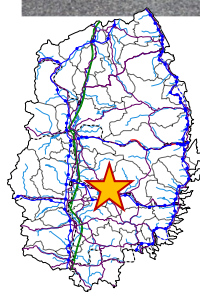
○ 劣化した舗装を補修し、走行環境の向上を図っています。

とおのし しもくみちょう  
遠野市 下組町工区  
（(一)遠野住田線）

県南広域振興局土木部  
遠野土木センター



切削（老朽化したアスファルトの削り取り）の状況



○ 劣化した舗装を補修し、走行環境の向上を図っています。

# 令和5年度 花巻空港消火救難訓練を実施しました



花巻空港事務所

## 多くの関係機関が参加し本番さながらの訓練を実施！！

10月4日（水）、花巻空港で「花巻空港消火救難隊の初動体制の確立・検証」及び「関係機関との緊密な連携による迅速かつ適切な消火救難活動」を目的として消化救助訓練を実施しました。

本訓練は平成15年度から毎年実施しており、今年で21回目となります。

訓練当日は、空港関係者及び消防・医療機関など22機関110名が参加し、15台の消防車両等による消火救難訓練や県の防災ヘリコプターを使用した負傷者輸送訓練

などを実施しました。

花巻空港では、過去に航空機が着陸の際にハードランディングし炎上大破した事故や着陸後の逸脱事故が発生しており、参加者は皆真剣な面持ちで訓練に取り組んでいました。



平成5年発生 炎上事故の様子



平成24年発生 逸脱事故の様子



現場指揮本部設置状況



救護訓練



トリアージ（負傷者の治療優先順位決定）訓練



県防災ヘリコプター「ひめかみ」による負傷者搬送訓練



県 花巻空港事務所による指揮統制確認の様子



大型化学消防車・消防車両走行



大型化学消防車による放水訓練の様子

### ～令和5年度 花巻空港消火救難訓練 実施状況～

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 参加者（計110名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空港消火救難隊 35名</li> <li>花巻市消防 29名</li> <li>空港消防隊 12名</li> <li>県立中部病院（DMAT） 7名</li> <li>防災航空隊 9名</li> <li>ユアテック 1名</li> <li>花巻市医師会 1名</li> <li>警察航空隊 3名（模擬患者役）</li> <li>花巻観光協会 3名（模擬患者役）</li> <li>空港事務所 3名（模擬患者役）</li> <li>花巻警察署花巻空港派出所 7名</li> </ul> | <p>2. 車両（計15台）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花巻市消防本部 6台<br/>（指揮車2、化学車1、救助工作車1、救急車1、支援車1）</li> <li>県立中部病院 2台（救急車1、ハイエース1）</li> <li>空港消防隊 5台（化学車3、救難車1、医療車1）</li> <li>空港事務所 2台（模擬機（マイクロバス）1、先導車1）</li> </ul> <p>3. 航空機（1機）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県防災航空隊防災ヘリコプター</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# 道路インフラメンテナンス勉強会を開催しました!!

～ 道路インフラメンテナンスの理解向上と土木技術者の担い手の確保・育成を推進～

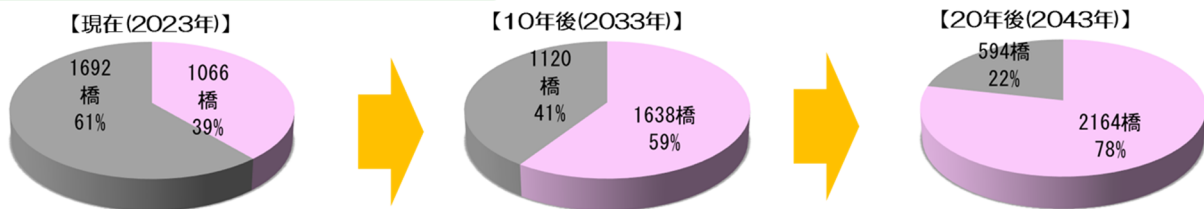
## 道路環境課

県が管理する橋梁（約 2,800 橋）のうち、建設後 50 年以上経過する橋梁の割合は現在約 4 割ですが、20 年後には約 8 割と急激に上昇する見込みであり、老朽化対策が重要な課題です。

そのため、県では、令和元年度から県内の土木系学科を有する高校との協働による橋梁点検、令和4年度から1～2年生を対象としたメンテナンス工事現場見学会に取り組んでいます。

また、令和5年度からの「新たな取組」として、生徒のインフラメンテナンスに関する更なる理解向上を目的とした「道路インフラメンテナンス勉強会」を開催しました。

### 県管理橋梁の建設後50年が経過した割合



■ 50年以上 ■ 50年未満

※ 令和5年3月末時点

勉強会では、クイズを交えながら、老朽化対策が本格化された経緯や取組、老朽化が進んだ橋梁の補修事例について学んでいただきました。

参加した生徒からは「メンテナンスのやりがいは?」、「橋の補修や架替にかかる費用や期間はどのくらい?」などのメンテナンスに関わる質問や、「岩手県で一番長い橋・トンネルは?」、「道路の長さはどうやって測っている?」などインフラに関しても活発に質問をいただき、インフラメンテナンス全体に興味を持っていただいた様子でした。





# 現場ニュース



県では、これらの取組を通じて、**高校生に道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解を深めてもらう**とともに、**将来のインフラメンテナンスなどを担う土木技術者の「担い手確保・育成」の推進**に取り組んでいきます。

## ■これまでの取組状況

### 道路インフラメンテナンス勉強会の実施状況

対象高校	実施年月日
盛岡工業高校 土木科(3年生:24人)	令和5年10月23日
久慈工業高校 建設環境科(2年生:2人)	令和5年9月28日
黒沢尻工業高校 土木科(2年生:20人)	令和5年10月30日
一関工業高校 土木科(2年生:39人)	令和5年9月27日
花巻農業高校 環境科学科(2年生:22人)	令和5年10月17日

### インフラメンテナンス工事現場見学会の実施状況

対象高校	実施年月日
盛岡工業高校 土木科(1年生:27人)	令和5年10月25日
久慈工業高校 建設環境科(1年生:5人、2年生:4人)	令和5年7月19日
黒沢尻工業高校 土木科(1年生:16人)	令和5年10月6日
一関工業高校 土木科(1年生:23人)	令和5年9月20日
花巻農業高校 環境科学科(1年生:17人)	令和5年9月27日

### 高校生との協働による橋梁点検の実施状況

年度	対象高校	実施年月日		
		現地点検	健全性診断	報告会
R1	①盛岡工業高校 土木科3年生(9人)	R1.11.21	R1.12.9	R2.2.7
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(8人)	R2.12.18	R3.1.28	R3.2.5
R2	①盛岡工業高校 土木科3年生(7人)	R2.11.25	R3.1.20	R3.2.19
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(7人)	R3.12.9	R4.1.20	R4.2.21
	③黒沢尻工業高校 土木科3年生(5人)	R3.11.25	R4.1.19	R4.3.29
	④一関工業高校 土木科3年生(7人)	R3.12.9	R3.12.13	R4.2.8
R3	①盛岡工業高校 土木科3年生(8人)	R3.10.29	R3.12.23	R4.1.25
	②久慈工業高校 建設環境科2年生(7人)	R4.11.25	R5.1.20	R5.2.9
	③久慈工業高校 建設環境科2年生(7人)	R4.11.17	R5.1.18	R5.2.16
	④黒沢尻工業高校 土木科3年生(8人)	R4.10.31	R4.12.19	R5.2.3
	⑤一関工業高校 土木科3年生(7人)	R4.12.13	R5.1.24	R5.2.13
R4	⑥花巻農業高校 環境科学科3年生(5人)	R4.11.7	R4.12.21	R5.1.27



一般国道106号沿線の道の駅を巡って

【復興支援道路】宮古盛岡横断道路カードを集めよう!

～インフラカードで沿線道の駅の利用を促進～

沿岸広域振興局 土木部 宮古土木センター

東日本大震災津波からの復興のリーディングプロジェクトとして整備され、令和3年3月28日に全線開通した宮古盛岡横断道路（一般国道106号）は、岩手県が管理する唯一の自動車専用道路※です。 ※達曽部道路、築川道路等の一部区間を除く。

岩手県では、宮古盛岡横断道路を身近に感じてもらうとともに、沿線の道の駅の魅力を広く情報発信するため、「新区界トンネル」や「宮古西大橋」など主要な構造物を掲載した全16種類のインフラカード（【復興支援道路】宮古盛岡横断道路カード）を作成し、令和5年11月1日（水）から沿線の道の駅（みやこ、やまびこ館、区界高原）で配布します。

各道の駅で3種類以上（合計9種類以上）のカードを集めた先着106名には、特製カードホルダーをプレゼントします。

宮古盛岡横断道路沿線の道の駅を巡ってインフラカードを集めてみませんか。

**【復興支援道路】宮古盛岡横断道路カード**  
全16種類（トンネル10種類+橋梁6種類）

道の駅みやこの配布カード（5種類）

▲①雄突山トンネル	▲②小山田西トンネル	▲③松山トンネル	▲④宮古大橋	▲⑤宮古西大橋

道の駅やまびこ館の配布カード（5種類）

▲⑥茂市トンネル	▲⑦脈帯大橋	▲⑧古田トンネル	▲⑨川井第2トンネル	▲⑩平津戸トンネル

道の駅区界高原の配布カード（6種類）

▲⑪新区界トンネル	▲⑫築川大橋	▲⑬沢沢橋	▲⑭川目橋	▲⑮新川目トンネル	▲⑯手代森トンネル

宮古盛岡横断道路（一般国道106号）沿線の道の駅

**みやこ**  
  
 事業計画が古市の中心部に位置し、みなとを核としたまちづくりを促進する「みなとオアシス」にも登録されています。新鮮な魚介類や特産品などを取り揃えた物産販売コーナーと朝のメニューを提供するレストランがあり、周辺には令和4年7月に就航した遊覧船「宮古うみねこ丸」の発着所があります。  
 【おすすめメニュー】海鮮丼、炭焼ラーメン、海の恵みソフトクリーム

**やまびこ館**  
  
 一般国道106号の古古市と盛岡市の間に位置し、レストラン、バー、工芸、産物販売のほか、季節り作品展を開催する芸術造園工芸館があり、伝統工芸の体験（しでん）体験でカササギや巻などを体験することができます。令和3年4月には、大型観音造像が整備されたドーム型お大師様がオープンしました。  
 【おすすめメニュー】ドラゴン飯、黒豆ソフトクリーム、シャリシャリブリック

**区界高原**  
  
 一般国道106号の古古市と盛岡市の間に位置し、名産「究明特産品」を背景に自然豊かな風景や登山、ハイキングが楽しめます。令和3年3月に売店とフードコートをつなぐアザラシリニューアルオープンし、レストランと人気だったメニューをフードコートで提供しています。  
 【おすすめメニュー】タールラーメン、区界高原もりもり、釜煎りごソフトクリーム

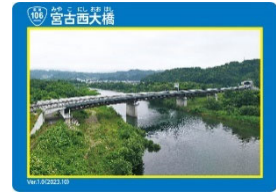
**カードの裏面には構造物や沿線道の駅の情報を掲載!**

**宮古盛岡横断道路 構造物MAP**

宮古盛岡横断道路 約80km

◎カードの種類

宮古盛岡横断道路（一般国道106号）の主要な構造物  
全16種類（トンネル10種類+橋梁6種類）・各1,000枚



◎配布期間

令和5年11月1日～無くなり次第終了

国道106号にちなみ  
10+6の16種類！

◎配布場所

宮古盛岡横断道路（一般国道106号）沿線の道の駅（みやこ・やまびこ館・区界高原）

【配布方法】

対象の道の駅で所定のアンケートに回答いただいた後、インフォメーション等で御希望のカードと交換します。

※カード配布は1日当たり1人1枚とします。

※転売目的の方へのカード配布はできません。



もらえるカードは  
各道の駅で異なります！

【対象の道の駅の営業時間】

道の駅	営業時間	配布場所	備考
みやこ	8時45分～17時00分	インフォメーション	元旦は休業
やまびこ館	8時30分～17時30分	売店	土日祝日は 18時00分まで
区界高原	9時00分～17時00分	売店	12月～3月は 16時30分まで

◎カード収集特典

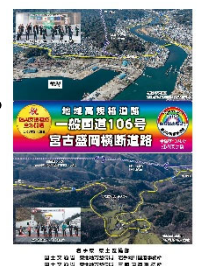
各道の駅で3種類以上（合計9種類以上）集めた先着106名には、宮古盛岡横断道路のパンフレットを活用した特製カードホルダーをプレゼント！！

【申込方法】

(1) 集めたカード（9種類以上）を対象のいずれかの道の駅で提示する。

(2) 対象の道の駅から専用申込書を受け取る。

(3) 必要事項を記入し岩手県（宮古土木センター）に送付する。



本取組の詳細は、以下の宮古土木センターホームページを御覧ください。

【問い合わせ先】岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

<宮古土木センターホームページ>

トップページ>沿岸広域振興局>宮古土木センター>道路【復興支援道路】宮古盛岡横断道路カード

[https://www.pref.iwate.jp/engan/miya\\_doboku/1068516/1068517/index.html](https://www.pref.iwate.jp/engan/miya_doboku/1068516/1068517/index.html)

# 2023 火山砂防フォーラムが雫石町で開催されました！

砂防災害課

10月19日（木）、雫石町中央公民館にて「2023 火山砂防フォーラム」が開催されました（主催 火山フォーラム委員会（委員長／猿子雫石町長））。

火山砂防フォーラムは、全国の活火山のある市町村で開催されており、県内での開催は、平成16年の旧西根町（現八幡平市）での開催以来、18年ぶりの開催となります。

当日は、「火山を知り、火山とともに生きる ～魅力ある故郷の山 岩手山 雫石町から～」をテーマに、全国の行政関係者や参加者など約500名の参加のもと盛大に開催されました。

雫石町立西山小学校6年生による研究発表では、猿子雫石町長から依頼された「人々を噴火から守りたい」、「噴火の恵みを生かして町をもっと盛り上げたい」の二つのテーマを踏まえ、噴火への備えや雫石町いいところマップなどを盛り込み取りまとめた「岩手山火山対策防災ブック」の発表がありました。

また、研究発表の最後には、「町を盛り上げるには町を好きになることだと分かりました。ふるさとのまち雫石町をもっともっと好きになり、町を盛り上げていきたい」との力強い言葉がありました。

そのほか、パネルディスカッションやポスターセッションなどを通じて、参加者が火山を知り、防災を考える良いきっかけとなりました。

## 研究発表



西山小学校の児童が企画したジェラートのお振舞！



猿子栗石町長挨拶



知事挨拶(佐々木盛岡広域振興局長代読)



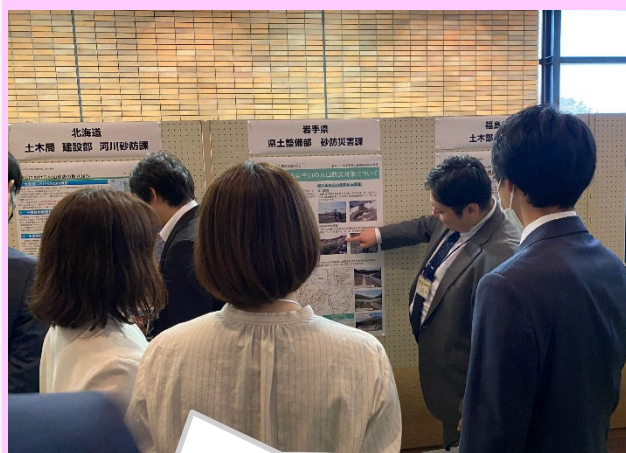
草野国土交通省砂防部長挨拶

パネルディスカッション



岩手山を生かした地域振興や地域振興を支える安心・安全について、それぞれの立場から意見交換がありました。

ポスターセッション



全26枚の火山に係るポスター掲示がありました。

会場の様子



約500名が参加！

現地研修会



岩手河川国道事務所が実施している砂防堰堤を視察

～子育て編～

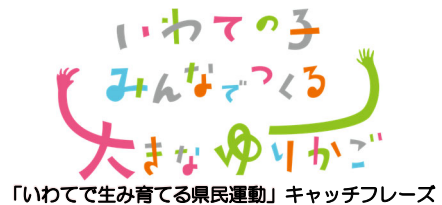
岩手県県土整備部における

人口減少対策につながる取組事例集

県土整備企画室

岩手県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン「政策推進プラン」において、人口減少対策に最優先で取り組むこととし、「4つの重点事項」のひとつに「自然減・社会減対策」を掲げています。

このことを踏まえ、県土整備部では、「いわてで生み育てる県民運動」と連動した取組として、都市公園や河川公園などの施設に加え、歩道や自転車道など、子育てに関連する社会資本を幅広く紹介する事例集を作成しました。



◆ 県ホームページで公開中！

岩手県トップページ > 県土づくり > 県土整備一般 > 県土整備の概要

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/gaiyou/kosodate.html>

県土整備部 子育て

検索

岩手で働く 岩手で育てる 岩手で暮らす 岩手とつながる

結婚・子育てなどライフステージに応じ支援や移住・定住施策を強化しています

社会減対策 自然減対策 社会減対策

進学 就職 結婚 妊娠・出産 子育て 転職・移住

【いわてで生み育てる県民運動】  
キャッチフレーズ  
いわての子  
みんながつくる  
大きなゆりかご

岩手県では、結婚、出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、地域社会全体で子育てする方々や子どもを温かく見守る環境づくりに取り組む機運を醸成するため、「いわてで生み育てる県民運動」を推進しています。

今回、県土整備部がご紹介する取組

充実の子育て関連施設	都市公園	1	ページ
	河川・海岸	7	
	ダム	54	
	砂防	63	
	港湾・空港	72	
道路環境の整備		82	ページ

【紹介内容の一例】



事例集では、80の施設やカード類などを紹介！

この事例集により、本県が子育てに役立つ多数の社会資本を有していることを紹介し、より一層ストックの活用を図ることで子育て世帯等を応援していきます。

また、「子どもをのびのびと育てたい」「安心して暮らせる地域で生活したい」といったニーズに沿った「いわての優れた子育て環境」をアピールするとともに、「いわてで暮らす魅力」の情報を発信することを通じ、移住・定住の促進を図っていきます。



県庁舎1階県民室で開催したパネル展

県ホームページをスマートフォンで見るとこちら



## 『特集ページ』

# 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等を紹介します！

令和5年度の県土づくりNEWSでは、岩手県県土整備部における「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の実施状況・事例等」を9回に分けて御紹介します。

実施状況・事例等		防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	
		概要 p.3 岩手県の取組 p.3 予算の配分 p.4	
p.5	1 効果事例	河川 p.7 砂防 p.15 道路 p.20 港湾 p.31	
p.33	2 現在実施中	河川 p.34 砂防 p.37 道路 p.39	
p.45	3 今後実施予定	河川 p.47 砂防 p.52 道路 p.55 港湾 p.66	
p.68	4 現場の取組		

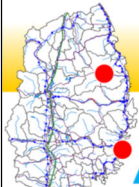
### ■特集ページのスケジュール

掲載予定	対策の状況	分野	内容等
R5.7月号	効果事例	河川、砂防	堤防等の整備、河川の堆積土砂撤去、砂防堰堤の整備、急傾斜地の崩壊対策
R5.8月号		道路、港湾	道路の斜面对策、舗装の補修、橋りょうの老朽化対策、岸壁の老朽化対策
R5.9月号	現在実施中	河川	堤防等の整備、内水対策、洪水浸水想定区域図の公表
R5.10月号		砂防	砂防堰堤の整備、土砂災害が発生するおそれのある箇所への対応
R5.11月号		道路	道路の斜面对策、橋りょうの老朽化対策、道路の整備
R5.12月号	今後実施	河川、砂防	河川整備における今後の取組の背景、河川の堆積土砂撤去、ダム設備の補修、砂防堰堤の整備・老朽化対策
R6.1月号		道路	道路整備における今後の取組の背景、道路の整備、無電柱化の推進、橋りょう等の老朽化対策
R6.2月号		港湾	臨港道路・物揚場の補修
R6.3月号	現場の取組	全般	建設DX、工事現場見学会・出前講座の開催

### ■今月（令和5年10月号）の特集

今月は5か年加速化対策の「現在実施中（砂防）」を御紹介します！

# 『特集ページ』 ～効果事例（砂防）～



5 年加速化対策 **現在実施中**



岩手県 Iwate Prefecture

1

## 砂防 砂防堰堤の整備

いわいずみちょう ほんどうぐちのさわ おもとがわ  
 > 岩泉町 本銅口の沢（小本川水系）

対策実施中



【土石流発生】平成28年 台風第10号  
 （人家1戸損壊、7戸床下浸水）

かまいしし おざきしらはまのさわ  
 > 釜石市 尾崎白浜の沢（2）  
 （その他水系）

対策実施中



【土石流発生】令和元年 台風第19号  
 （市道に土砂流出）

対策の内容

台風での被害を受けて、再度の災害が生じないように、土石流を捕捉する砂防堰堤を建設しています。



5 年加速化対策 **現在実施中**



岩手県 Iwate Prefecture

2

## 砂防 土砂災害が発生するおそれのある箇所への対応

【土砂災害警戒区域の指定(更新)に向けた基礎調査の想定スケジュール】

東北6県平均  
 (約7,800箇所)  
 の約1.7倍



対策の内容

- ・ 土砂災害警戒区域等の基礎調査を着実に進めていきます。
- ・ 令和4年度から抽出・公表している、新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」についても同様に、基礎調査を進めます。